

公衆衛生学講座

Public Health

教授	稲寺 秀邦	Hidekuni Inadera
准教授	寺西 秀豊	Hidetoyo Teranishi
助教	加藤 輝隆	Terutaka Katoh
助教	橋 信二郎	Shinjiro Tachibana

◆ 原 著

- 1) Uchida M., Teranishi H., Aoshima K., Katoh T., Kasuya M., and Inadera H. : Elevated urinary levels of vitamin D-binding protein in the inhabitants of a cadmium polluted area, Jinzu River basin, Japan. *Tohoku J. Exp. Med.*, 211: 269-274, 2007.
- 2) Tachibana S., and Yasuda M. Purification and characterization of heterogeneous glucoamylases from *Monascus purpureus*. *Biosci. Biotech. Biochem.*, 71: 2573-2576, 2007.
- 3) Villalonga R., Tachibana S., Cao R., Matos M., and Asano Y.: Glycosidation of phenylalanine dehydrogenase with O-carboxymethyl-poly- β -cyclodextrin. *Enzyme Microb. Technol.*, 40: 471-475, 2007.
- 4) Villalonga R., Fujii A., Shinohara H., Asano Y., Cao R., Tachibana S., and Ortiz P.: Supramolecular-mediated immobilization of L-phenylalanine dehydrogenase on cyclodextrin-coated Au electrodes for biosensor applications. *Biotechnol. Lett.*, 29: 447-452, 2007.
- 5) Hayashi S., Teranishi H., Shimooka Y. Yamada N.: High prevalence of pollinosis symptoms among the farmers growing Japanese pears. *Int. J. Immunopathol. Pharmacol.*, 20 (2) (S2): 27-29, 2007.
- 6) Teranishi H., Uchida M., Hayashi S., Yamada N.: Allergenic pollens and spores in the working environment of Japanese pear farmers. *Int. J. Immunopathol. Pharmacol.*, 20 (2) (S2): 65-67, 2007.
- 7) 寺西秀豊, 福島千鶴子, 何雲, 内田満夫, 加藤輝隆, 稲寺秀邦, 岸川禮子, 児塔栄子, 平英彰, 吉井エリ, 斎藤真巳: 空中花粉調査から見た佐渡, 富山および屋久島の地域比較. 花粉症研究会会報, 18 : 8-14, 2007.

◆ 総 説

- 1) 稲寺秀邦, 内田満夫, 下村明子: 毒性研究におけるゲノム技術等の現状と課題. *日本衛生学雑誌*, 62 : 18-31, 2007.

◆ 学会報告

- 1) Yamasaki S., Tachibana S., and Asano Y. : Creation of a new enzyme methionine dehydrogenase for the diagnosis of homocystinuria. *Enzyme Engineering XIX*, 2007, 9, Harrison Hot Springs, Canada.
- 2) Katoh T. : Reconstruction of the climate in Central Japan using a personal diary, 1827-1859. The first Asian Dendrochronology Conference and Workshop, 2007, 9, 9-15, Bangkok.
- 3) Asano Y., and Tachibana S.: Molecular breeding of a new enzyme methionine dehydrogenase for the diagnosis of homocystinuria, based on the successful use of phenylalanine dehydrogenase for phenylketonuria. 第14回日本ドイツ酵素工学会議, 2007, 10, 金沢.
- 4) 寺西秀豊: 出生時体重と成長の関係—英国出生コホート研究より. 第19回富山県母性衛生学会, 2007, 2, 富山.
- 5) 稲寺秀邦, 内田満夫, 下村明子: 毒性研究におけるゲノム技術等の現状と課題. 第77回日本衛生学会, 2007, 3, 25-28, 大阪.
- 6) 堀口兵剛, 小熊悦子, 細井陽子, 香山不二夫, 青島恵子, 佐々木敏, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 内田満夫, 稲寺秀邦: 富山県神通川流域カドミウム汚染地域住民におけるカドミウム暴露とその腎機能への影響についての近年の状況. 第77回日本衛生学会, 2007, 3, 25-28, 大阪.
- 7) 林 節男, 寺西秀豊: 花粉症予防のナシ園の花粉・微生物カレンダー作り. 第24回富山県農村医学研究会, 2007, 3, 高岡.
- 8) 稲寺秀邦, 内田満夫: 化学物質の肝臓への影響を簡便に評価するための DNA マイクロアレイシステムの開発. 第80回日本産業衛生学会, 2007, 4, 25-28, 大阪.
- 9) 寺西秀豊, 福島千鶴子, 加藤輝隆, 吉田行夫: 富山大学における2007年スギ花粉飛散の特徴と気象要因. 第19回

花粉症研究会, 2007, 6, 高岡.

- 10) 加藤輝隆:『應響雜記』から読み解く江戸末期の富山の気候と庶民の暮らし. 2007年度「樹木年輪」研究会, 2007, 6, 29-30, 蔵王.
- 11) 安田正昭, 橘信二郎:豆腐ようの製造に用いる微生物:紅麹菌の産生するグルコアミラーゼの特性. 平成19年度日本醸造学会, 2007, 9, 4-5, 東京.
- 12) 寺西秀豊, 福島千鶴子, 加藤輝隆, 稲寺秀邦, 林 節男, 吉田行夫:富山市における空中花粉の自動計測装置(KP-1500)による観察. 日本花粉学会第48回大会, 2007, 9, 倉敷.
- 13) 寺西秀豊, 大浦栄次:果樹園作業環境におけるアレルギー性花粉と胞子の観察. 第56回日本農村医学学術総会, 2007, 10, 長岡.
- 14) 橘信二郎, 稲寺秀邦, 浅野泰久:フェニルケトン尿症スクリーニングのための酵素チップの開発. 第7回分子予防環境医学研究会, 2007, 10, 26-27, 北九州.

◆ その他

- 1) 稲寺秀邦:メタボリックシンドロームとその対策. 産保とやま, 47:6-7, 2007.
- 2) 稲寺秀邦:酸素欠乏・硫化水素危険作業技能講習. 富山県労働基準協会, 2007, 1, 24, 富山.
- 3) 稲寺秀邦:質の高い睡眠で心身ともに健やかに. 平成18年度さわやか・いきいき健康教室, 2007, 2, 20, 富山.
- 4) 稲寺秀邦:花粉症とその対策. JR西日本高岡鉄道部健康講話, 2007, 3, 2, 高岡.
- 5) 稲寺秀邦:有機溶剤作業主任者技能講習. 富山県労働基準協会, 2007, 3, 5, 富山.
- 6) 稲寺秀邦:メタボリックシンドローム. 産業保健セミナー, 2007, 3, 7, 富山.
- 7) 稲寺秀邦:DNAチップを用いた毒性評価手法の現状と課題. 日本化学工業協会研究支援自主活動 Annual Report 2006, 36 社団法人日本化学工業協会 2007, 3.
- 8) 吉野義光, 稲寺秀邦:杉谷キャンパスの水質保全. 富山大学水質保全センター報, vol. 16, P7-9, 2007, 3.
- 9) 稲寺秀邦:五福キャンパスにおける環境安全・環境配慮に対する取り組みに関する調査結果. 富山大学水質保全センター報, vol. 16, P12-21, 2007, 3.
- 10) 稲寺秀邦:杉谷部会報告. 富山大学水質保全センター報, vol. 16, P26, 2007, 3.
- 11) 稲寺秀邦(分担執筆):安全ノート-快適な実験を行うために-. 富山大学環境安全衛生監理室, 2007, 4.
- 12) 稲寺秀邦:安全衛生教育について. 富山大学附属病院新採用職員研修会, 2007, 4, 2, 富山.
- 13) 稲寺秀邦:健康管理. 新入者安全衛生教育, 2007, 4, 3, 富山.
- 14) 稲寺秀邦:石綿作業主任者技能講習. 建設業労働災害防止協会, 2007, 4, 5, 富山.
- 15) 稲寺秀邦:アルコールと健康. 東ソー株式会社衛生講話, 2007, 4, 20, 富山.
- 16) 稲寺秀邦:有機溶剤作業主任者技能講習. 富山県労働基準協会 2007, 5, 10, 富山.
- 17) 稲寺秀邦:生活習慣病と薬の上手な使い方. 職業生活設計セミナー, 富山県雇用開発協会, 2007, 5, 12, 富山.
- 18) 稲寺秀邦:熱中症対策. JR西日本高岡鉄道部健康講話, 2007, 6, 1, 高岡.
- 19) 稲寺秀邦:熱中症とその対策. 富山産業保健推進センター産業保健セミナー, 2007, 6, 6, 富山.
- 20) 稲寺秀邦:過重労働について. 入善・朝日地区安全衛生合同研修会, 2007, 6, 15, 富山.
- 21) 稲寺秀邦:過重労働対策と医師の面接指導. 砺波市医師会産業保健研修会, 2007, 6, 28, 砺波.
- 22) 稲寺秀邦:環境安全衛生について. 安全衛生に関する講習会, 2007, 7, 5, 富山大学杉谷キャンパス.
- 23) 稲寺秀邦:過重労働対策の進め方. 富山市医師会産業医学研修会, 2007, 7, 5, 富山.
- 24) 稲寺秀邦:酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山県労働基準協会, 2007, 7, 30, 富山.
- 25) 稲寺秀邦:石綿作業主任者技能講習. 建設業労働災害防止協会, 2007, 8, 2, 富山.
- 26) 稲寺秀邦:過重労働解消の必要性について. 八尾町工場協会「健やかに働くために」条件整備研究会, 2007, 8, 8, 八尾.
- 27) 稲寺秀邦:有機溶剤作業主任者技能講習. 富山県労働基準協会. 2007, 8, 9, 富山.
- 28) 稲寺秀邦:過重労働対策の進め方・医師による面接指導の手法. 富山産業保健推進センター平成19年度産業医学研修会, 2007, 8, 23, 富山.
- 29) 稲寺秀邦:化学物質曝露により良く働く遺伝子, 働かなくなる遺伝子を探る - 遺伝子の発現変動から, 毒性を予測できるか-. 第6回日本化学工業協会 LRI 研究報告会, 2007, 8, 31, 発明会館.
- 30) 稲寺秀邦:アルコールと健康. JR西日本高岡鉄道部健康講話, 2007, 9, 7, 高岡.
- 31) 稲寺秀邦:快適な睡眠について. 東ソー株式会社衛生講話, 2007, 10, 4, 富山.

- 32) 稲寺秀邦：9-10 章 訳. P p. 249-264. 鏡森定信, 橋本英樹監訳：マーモット, M. 著：ステータス症候群—社会格差という病. 日本評論社, 東京, 2007.
- 33) 稲寺秀邦：高齢化社会における企業経営者としての健康管理. 八尾精密工業会講演会, 2007, 10, 21, 富山.
- 34) 稲寺秀邦：酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 富山県労働基準協会, 2007, 11, 19, 富山.
- 35) 稲寺秀邦：第 1 回富山大学環境塾 パネルディスカッションパネリスト「環境問題について大学でできること」, 2007, 11, 21, 富山大学理学部多目的ホール.
- 36) 稲寺秀邦：精神科医等のための産業保健研修会. 産業保健概論, 過重労働・メンタルヘルス対策等, 2007, 11, 23, 富山.
- 37) 稲寺秀邦：過重労働について. 平成 19 年度第 2 回高岡地域産業保健センター事例検討会, 2007, 12, 4, ホテルニューオータニ高岡.
- 38) 稲寺秀邦：注目されるメタボリックシンドローム. 石川産業保健推進センター産業医研修会, 2007, 12, 6, 石川産業保健推進センター.
- 39) 寺西秀豊：講演「イタイタイ病の歴史と取り組み」富山大学理学部 米・マーレイ州立大学学術交流, 2007, 1, 富山.
- 40) 寺西秀豊：講義「ストップ!メタボリックシンドローム」射水市福祉保健部講演会, 2007, 5, 射水.
- 41) 寺西秀豊：アレルギー・花粉症. 産業保健セミナー, 2007, 5, 富山.
- 42) 寺西秀豊：富山県医師会連携によるスギ花粉飛散調査の意義と今後. 花粉症研究会 平成 19 年度研修会, 2007, 11, 富山.
- 43) 寺西秀豊：9-10 章 訳. P p. 264-276. 鏡森定信, 橋本英樹監訳：マーモット, M. 著：ステータス症候群—社会格差という病. 日本評論社, 東京, 2007.
- 44) 加藤輝隆：『應響雑記』から読み解く江戸末期の富山の気候. 富山第一銀行奨学財団研究助成セミナー（研究成果発表会）, 2007, 6, 7, 富山.
- 45) 加藤輝隆：立山の自然の現状と保護. 富山県地方自治研究センター 第 32 回研究会, 2007, 10, 11, 富山.
- 46) 加藤輝隆：立山の樹木が語る気候変化. 富山大学極東地域研究センターシンポジウム ー長白山と立山から地球環境の変化を探るー, 2007, 11, 23, 富山.
- 47) 加藤輝隆：年輪年代学的解析. 平成 18 年度 立山植生モニタリング調査成果報告書（立山植生研究会 編）, 32-48, 2007.
- 48) 加藤輝隆：第 15 回環境自治体会議に参加して. 自治研とやま, No.61, 16-17, 富山県地方自治研究センター, 富山, 2007.